

2017 年 9 月
No.17-122a(本)※1

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目につきまして本年 9 月末より検査試薬および基準値等を変更させていただくことになりましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。
敬具

記

■検査内容変更対象項目

- [1767] 全脂質脂肪酸分画
- [4049] 農薬スクリーニング
- [5749] IgE-CAP16 花粉症・鼻炎
- [5750] IgE-CAP16 アレルギー性喘息
- [5073] IgE(特異的)ブタクサ
- [-] プレセプシン

※変更内容の詳細は裏面をご確認下さい。

■変更期日

- 2017 年 9 月 30 日(土)受付日分より

■対象項目/変更内容

頁	項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
9	1767	全脂質脂肪酸分画	検査項目名の誤植	全脂質脂肪酸分画	全脂質構成脂肪酸分画	総合検査案内の誤植
			容器	採取容器:01 →提出容器:02	採取および提出容器:01	提出容器の見直し
29	4049	農薬スクリーニング	検査対象農薬	別掲参照 (22 成分)	別掲参照 (37 成分)	検査対象農薬の見直し
80	5749	IgE-CAP16 花粉症・鼻炎	検査試薬	FEIA [サーモフィッシャーダイ アグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシャーダイ アグノスティックス]	アレルゲン 16 種のうち、ブタクサのみ改良試薬へ変更
80	5750	IgE-CAP16 アレルギー性喘息				
86	5073	IgE (特異的) ブタクサ	検査試薬	FEIA [サーモフィッシャーダイ アグノスティックス]	FEIA [サーモフィッシャーダイ アグノスティックス]	同一メーカーの改良試薬への変更
-	-	プレセプシン	検査方法	CLEIA [LSI メディエンス]	CLEIA [LSI メディエンス]	全自動分析装置用試薬の採用
			基準値	敗血症(細菌性) 診断のカットオフ 値 500 pg/mL	314 pg/mL 未満 (敗血症診断の カットオフ値 500 pg/mL)	
			報告下限	50.0pg/mL 未満	20.0pg/mL 未満	

※その他の検査要項に変更はございません。

全脂質脂肪酸分画

全脂質脂肪酸分画の提出容器を4mL汎用容器(容器番号:02, 分離剤なし)に変更します。
血清分離後、血清を4mL汎用容器に移し替えてご提出下さい。

■提出容器

容器番号	02	汎用容器
		
容量	4mL	
保管容器	室温	
有効期間	3 年	

農薬スクリーニング

農薬スクリーニングの検査対象農薬を下記のように 37 成分から 22 成分に変更いたします。なお、分析対象から除外する成分は登録が失効している農薬であり、検査委託先での確認において事故事例は報告されておりません。また、来年 4 月には、検査法を GC-MS から LC-MS/MS への変更を予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。

■ 農薬分析対象薬

新	旧
スミチオン (MEP) マラチオン CYAP エチルチオメトン EPN ダイアジノン MPP メチダチオン (DMTP) イソキサチオン ピリミホスメチル DDVP トリクロルフォン (DEP) フェンバレーレート シペルメトリン ペルメトリン メトリブジン シマジン (CAT) フェノブカルブ (BPMC) カルバリル (NAC) メソミル アラクロール プロパニル (DCPA)	スミチオン (MEP) マラチオン <u>サリチオン</u> CYAP <u>チオメトン</u> エチルチオメトン EPN ダイアジノン MPP <u>CYP</u> <u>パラチオン</u> メチダチオン (DMTP) イソキサチオン ピリミホスメチル DDVP トリクロルフォン (DEP) <u>α-ベンゾエピン</u> <u>γ-BHC</u> <u>ディルドリン</u> <u>アルドリン</u> <u>エンドリン</u> <u>ニトロフェン</u> <u>クロルデン</u> <u>DDT</u> <u>DDD</u> <u>DDE</u> フェンバレーレート シペルメトリン ペルメトリン メトリブジン シマジン (CAT) フェノブカルブ (BPMC) カルバリル (NAC) メソミル アラクロール プロパニル (DCPA) <u>PCP (ペンタクロルフェノール)</u>

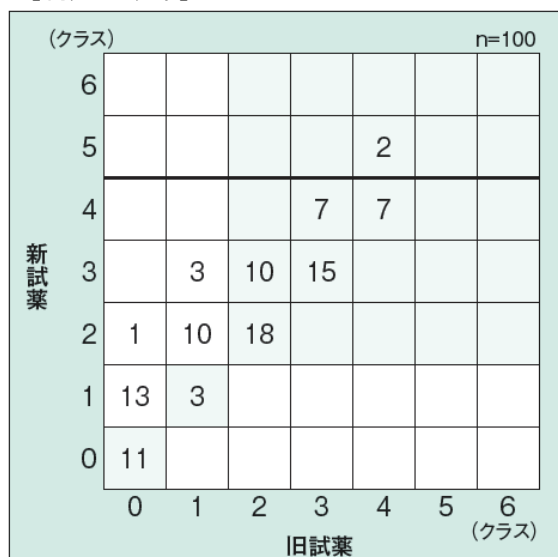
※下線は分析対象から削除。

IgE（特異的） ブタクサ

特異的IgE ブタクサの検査試薬を同一メーカーが販売するより高感度な改良試薬に変更いたします。改良試薬はブタクサ花粉の抽出工程の改良により、ブタクサ特異的IgEとの反応性が向上しています。なお、本変更に伴う基準値の変更はございません。

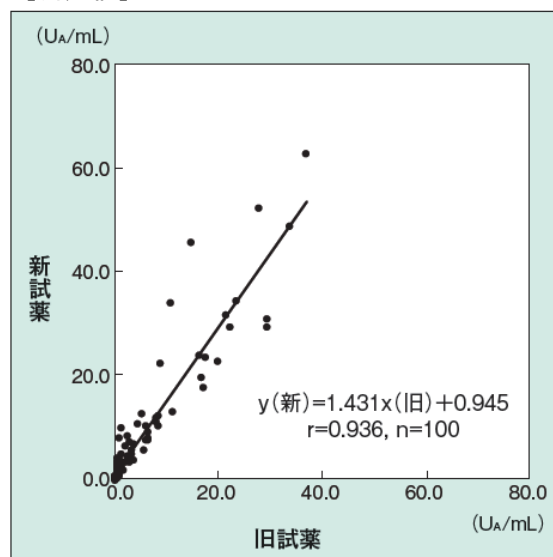
■新旧二法の相関

[判定一致率]



陽性一致率: 100.0% (59/59)
陰性一致率: 44.0% (11/25)
判定一致率: 54.0% (54/100)

[測定値]

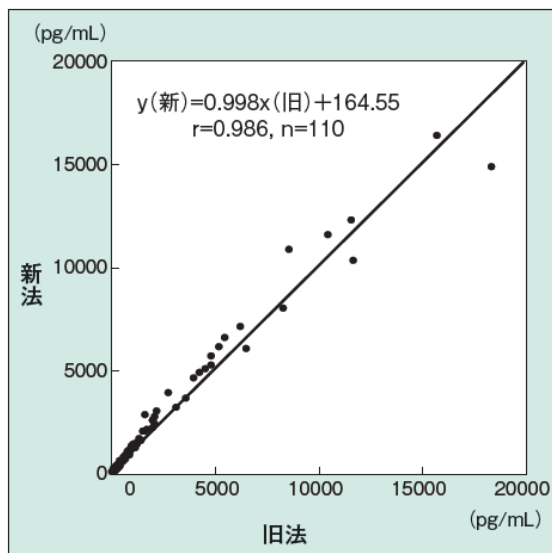


(LSI メディエンス検討データ)

プレセプシン

プレセプシンの測定試薬を全自動分析装置用試薬に変更いたします。本変更に伴い、基準値を敗血症（細菌性）診断のカットオフ値に変更いたします。

■新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)